

染料; ペイント; つや出し剤; 天然樹

脂; 接着剤; 他に分類されない組成物;

他に分類されない材料の応用

有機染料または染料製造に密接な関連を有する化合物; 媒染剤; レーキ (発酵または酵素を使用して所望の化学物質を合成する方法 C12P)

注

このサブクラスにおいては、ラストブレイス優先ルールが適用される、すなわち各階層レベルにおいて相反する指示のない限り、化合物は最後の適切な箇所に分類される。

サブクラス内の索引

アントラセン染料 1/00, 3/00, 5/00, 6/00, 9/02
 アゾ染料
 ジアゾ化およびカップリングによる製造
 モノアゾ染料 29/00
 ジアゾおよびポリアゾ染料 31/00, 33/00, 35/00
 ジアゾ化されたアミンの自己カップリングによるもの 37/00
 他のアゾ染料 39/00
 カップリング反応をおこなうための特殊方法 41/00
 他のアゾ化合物からのアゾ染料の製造 43/00
 ジアゾ化およびカップリングによるもの以外の製造 27/00 .
 陽イオン基を含む化合物 44/00
 金属錯塩化合物 45/00
 他の色原体を有する化合物 56/00
 他のアゾ染料 46/00
 インジゴイド; ジアリールおよびトリアリールメタン; オキシケトン染料 7/00, 9/04; 11/00; 13/00
 アクリジン, アジン, オキサジン, チアジン染料 15/00-21/00
 キノリンおよびポリメチン染料 23/00, 25/00
 ヒドラゾン, トリアゼン染料 26/00
 ポルフィリン, ポルフィラジン; 硫化染料 47/00; 49/00
 キナクリドン 48/00
 ホルマザン染料; ニトロおよびニトロソ染料; キノンイミド; アゾメチン染料 50/00; 51/00; 53/00; 55/00
 他の合成染料 57/00, 59/00
 天然染料 61/00
 反応性染料 62/00
 レーキ; 媒染剤; 染料の製造 63/00; 65/00; 67/00
 その他の染料 69/00

ファセット分類記号

適用範囲 (27/00~46/00; 56/00~56/20)

染料分子内に酸基, 例. COOH , SO_3H , PO_3H , OSO_3H , OPO_3H ,
 またはその基を含むもの

適用範囲 (1/00~69/10)

化学物質名または化学構造式で記載された
 有機低分子化合物自体の発明

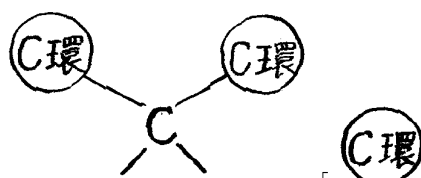
アントラセン染料

1/00 他の環と縮合していないアントラセン核をもつ染料
 1/02 ・ヒドロキシアントラキノン; そのエーテルまたはエステル
 1/04 ・核の合成による製造
 1/06 ・すでにアントラセン核を含む出発物質からの製造
 1/08 ・・・OH 基のみを含む染料
 1/10 ・・・ハロゲンを含む染料
 1/12 ・・・スルホン酸基を含む染料
 1/14 ・・・エーテル基を含む染料
 1/16 ・アミノアントラキノン
 1/18 ・核合成による製造
 1/20 ・すでにアントラセン核を含む出発物質からの製造
 1/22 ・・・非置換アミノ基をもつ染料
 1/24 ・・・スルホン化されたもの
 1/26 ・・炭化水素基で置換されたアミノ基をもつ染料
 1/28 ・・・アルキル, アラルキルまたはシクロアルキル基で置換されたもの
 1/30 ・・・スルホン化されたもの
 1/32 ・・・アリール基で置換されたもの (アントリイミド C09B1/48)
 1/34 ・・・スルホン化されたもの
 1/36 ・・アシル化されたアミノ基をもつ染料
 1/38 ・・・尿素またはチオ尿素誘導体
 1/40 ・・・脂肪族または脂環族カルボン酸残基から成るアシル基
 1/42 ・・・芳香族カルボン酸残基から成るアシル基
 1/43 ・・・ジカルボン酸[3]
 1/44 ・・・複素環カルボン基から成るアシル基
 1/46 ・・・シアヌル酸または類似の複素環化合物の残基から成るアシル基
 1/467 ・・・2 個以上のアントラキノン核に結合したものの[3]
 1/473 ・・・スルホン酸残基からなるアシル基[3]
 1/48 ・・アントリイミド
 1/50 ・アミノヒドロキシアントラキノン; そのエーテルまたはエステル
 1/503 ・・非置換アミノヒドロキシアントラキノン[2]
 1/51 ・N—置換アミノヒドロキシアントラキノン[2]
 1/514 ・・・N—アリール誘導体 (N—アラルキル誘導体 C09B1/515) [2]

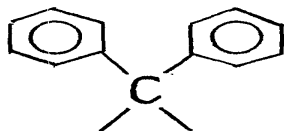
1/515	・ ・ ・ N—アルキル, N—アラルキル, または N—シクロアルキル誘導体[2]	3/60	・ アントアントロン
1/516	・ ・ ・ N—アシル化誘導体[2]	3/62	・ ・ 核の合成による製造
1/52	・ ・ スルホン化されたもの	3/64	・ ・ すでにアントアントロン核を含む出発物質からの製造
1/54	・ ・ エーテル化されたもの	3/66	・ ・ ・ ハロゲン化によるもの
1/56	・ メルカプトアントラキノ	3/68	・ ・ ・ アミノ誘導体
1/58	・ ・ 脂肪族, 脂環式, 芳香脂肪族または芳香族基で置換されたメルカプト基を有するもの[3]	3/70	・ ベンゾー, ナフトーまたはアントラージアントロン核を含む出発物質からの製造
1/60	・ ・ 脂肪族, 脂環式または芳香脂肪族基で置換されたもの[3]	3/72	・ ・ 核の合成による製造
1/62	・ ・ 複素環で置換されたメルカプト基を有するもの[3]	3/74	・ ・ すでにベンゾー, ナフトーまたはアントラージアントロン核を含む出発物質からの製造
3/00	1 またはそれ以上の炭素環と縮合しているアントラセン核をもつ染料	3/76	・ ・ ・ ハロゲン化によるもの
3/02	・ ベンゾアントロン	3/78	・ アントラセン核が 1 またはそれ以上の炭素環と縮合している他の染料
3/04	・ ・ 核の合成による製造	3/80	・ ・ 核の合成による製造
3/06	・ ・ すでにベンゾアントロン核を含む出発物質からの製造	3/82	・ ・ すでに縮合アントラセン核を含む出発物質からの製造
3/08	・ ・ ・ ハロゲン化によるもの	5/00	炭素環をもつまたはもたない 1 またはそれ以上の複素環と縮合しているアントラセン核をもつ染料
3/10	・ ・ ・ アミノ誘導体	5/02	・ ペリ位で縮合した複素環
3/12	・ ・ ジベンゾアントロニル	5/04	・ ・ ピラゾールアントロン
3/14	・ ペリレン誘導体	5/06	・ ・ ・ ベンゾアントロニル—ピラゾールアントロン縮合生成物
3/16	・ ・ 核の合成による製造	5/08	・ ・ ・ ジピラゾールアントロン
3/18	・ ・ すでにペリレン核を含む出発物質からの製造	5/10	・ ・ イソチアゾールアントロン; イソキサゾールアントロン; イソセレナゾールアントロン
3/20	・ ・ ・ ハロゲン化によるもの	5/12	・ ・ チオフェナレトロン
3/22	・ ジベンゾアントロン; イソジベンゾアントロン	5/14	・ ・ ベンゾ—アザベンゾアントロン (アントラピリドン)
3/24	・ ・ 核の合成による製造	5/16	・ ・ ベンゾ—ジアザベンゾアントロン, 例. アントラピリミドン
3/26	・ ・ ・ ジベンゾアントロニルからのもの	5/18	・ ・ セロキセン; セルシン; セラミデン; その誘導体
3/28	・ ・ ・ ペリレン誘導体からのもの	5/20	・ ・ フラバントロン
3/30	・ ・ すでにジベンゾアントロンまたはイソジベンゾアントロン核を含む出発物質からの製造	5/22	・ ・ ・ すでにフラバントロン核を含む出発物質からの製造
3/32	・ ・ ・ ハロゲン化によるもの	5/24	・ アントラキノ核の 1—2 位または 2—3 位で縮合した複素環
3/34	・ ・ ・ 酸化によるもの	5/26	・ ・ アントラセン系のカルバゾール
3/36	・ ・ ・ ヒドロキシ化合物のエーテル化によるもの	5/28	・ ・ ・ アントリイミドカルバゾール
3/38	・ ・ ・ アミノ基への炭化水素またはアシル残基の導入によるもの	5/30	・ ・ アントラセン系の 1.2—アゾール
3/40	・ ピラントロン	5/32	・ ・ アントラセン系の 1.3—アゾール
3/42	・ ・ 核の合成による製造	5/34	・ ・ アントラキノアクリドンまたはチオキサントン
3/44	・ ・ すでにピラントロン核を含む出発物質からの製造	5/36	・ ・ ・ アミノアクリドン
3/46	・ ・ ・ ハロゲン化によるもの	5/38	・ ・ ・ アクリドンおよびカルバゾール環を含む化合物
3/48	・ ・ ・ アミノ誘導体	5/40	・ ・ ・ ベンゾアントロニルアミノアントラキノの縮合生成物
3/50	・ ジベンゾピレンキノ	5/42	・ ・ ピリジノアントラキノ
3/52	・ ・ 核の合成による製造		
3/54	・ ・ すでにベンゾピレンキノ核を含む出発物質からの製造		
3/56	・ ・ ・ アミノ誘導体		
3/58	・ ベンゾアントラキノ		

- 5/44 ・ ・ アントラセン系のアジン
 5/46 ・ ・ ・ パラージアジン
 5/48 ・ ・ ・ ・ ビスーアントラキノンジアジン (インダントロン)
 5/50 ・ ・ ・ ・ ・ 2-アミノアントラキノンのアルカリ溶解による製造
 5/52 ・ ・ ・ ・ ・ 1,2-ハロゲノアミノアントラキノンの縮合による製造
 5/54 ・ ・ ・ ・ ・ 2-アミノアントラヒドロキノンからの製造
 5/56 ・ ・ ・ ・ ・ すでにインダンスレン核を含む出発物質からの製造
 5/58 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ハロゲン化によるもの
 5/60 ・ ・ ・ チアジン; オキサジン
 5/62 ・ アントラセン, ベンズアンスレンまたはペリレン系のペリージカルボン酸の環状イミドまたはアミジン
 6/00 上記に分類されないアントラセン染料[2]
 7/00 インジゴイド染料
 7/02 ・ ビスーインドールインジゴ
 7/04 ・ ・ そのハロゲン化
 7/06 ・ インドールーチオナフテンインジゴ
 7/08 ・ 他のインドールーインジゴ
 7/10 ・ ビスーチオナフテンインジゴ
 7/12 ・ 他のチオナフテンインジゴ
 9/00 建染染料のロイコ化合物のエステルまたはエステル塩
 9/02 ・ アントラセン染料
 9/04 ・ インジゴイド染料
 11/00 ジアリールまたはトリアリールメタン染料
 11/02 ・ ジアリールメタンから誘導されたもの

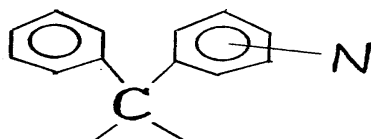
100



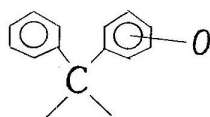
[C を構成原子とする環状体]



200



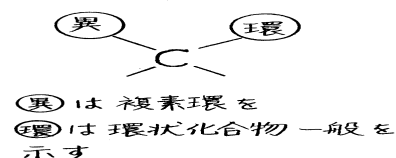
300



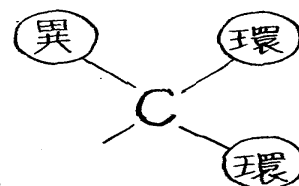
400

- 11/04 ・ トリアリールメタンから誘導されたもの
 11/06 ・ ・ 少なくとも 1 個の OH 基がアリール核に結合しているトリアリールメタンのヒドロキシ誘導体
 11/08 ・ ・ ・ フタレイン
 11/10 ・ ・ トリアリールメタンのアミノ誘導体
 11/12 ・ ・ ・ アリール核に OH 基を持たないもの
 11/14 ・ ・ ・ ・ 芳香族アルデヒド, 芳香族カルボン酸またはその誘導体および芳香族アミンからの製造
 11/16 ・ ・ ・ ・ ジアリールケトンまたはジアリールカルビノールからの製造
 11/18 ・ ・ ・ ・ 酸化による製造
 11/20 ・ ・ ・ ・ 他のトリアリールメタン誘導体からの製造
 11/22 ・ ・ ・ アリール核に OH 基を含むもの
 11/24 ・ ・ ・ アミノ基を含むフタレイン
 11/26 ・ ・ 少なくとも 1 個の芳香族核が複素環であるトリアリールメタン染料

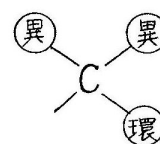
A



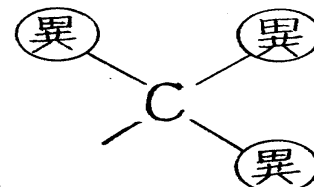
B



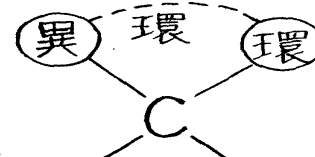
C



...



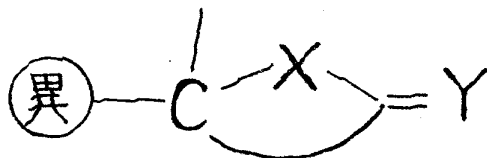
D



E



F [環形成を意図するもの
を含む]
G .



- Z その他の特徴
11/28 . ピロニン
A ジアリールメタンから誘導されたもの
B トリアリールメタンから誘導されたもの
C . スルホフタレインおよびその誘導体
D . フタレインおよびその誘導体
E . . キサンテン環に直接結合するアミノ基をもつもの
F . . . キサンテン環の2位および6位, または, 3位および7位がともにアミノ基で置換されているもの
G 2位または7位のアミノ基が脂肪族炭素で置換されているもの
H 2位または7位のアミノ基が芳香族基で置換されているもの
J . . キサンテン環に直接結合する水酸基をもつもの
K . . フルオラン環がさらに他の環と縮合しているもの
L . . ラクトン環に縮合する環が複素環のもの
M チオキサンテン
N さらにもう1つのジアリールメタンまたはトリアリールメタン構造をもつもの
Z その他のもの
13/00 オキシケトン染料
13/02 . ナフタレン系, 例. ナфтаザリン
13/04 . ピレン系
13/06 . アセトフェノン系

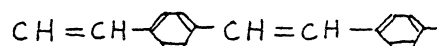
アクリジン, アジン, オキサジンまたはチアジン染料

- 15/00 アクリジン染料
17/00 アジン染料
17/02 . ベンゼン系
17/04 . ナフタレン系
17/06 . フルオリンジンおよびその誘導体
19/00 オキサジン染料

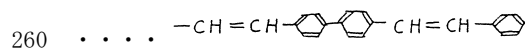
- 19/02 . アミノキノンから製造されたビスオキサジン
21/00 チアジン染料

キノリンまたはポリメチン染料

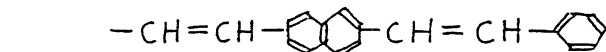
- 23/00 メチン又はポリメチン染料, 例. シアニン染料
23/01 . メチン鎖に特徴のあるもの[3]
23/02 . . 奇数個の $\equiv\text{CH}$ 基を有するもの[3]
23/04 . . . 1個の $\equiv\text{CH}$ 基, 例. シアニン, イソシアニン, プソイドシアニン[3]
23/06 . . . 3個の $\equiv\text{CH}$ 基, 例. カーボシアニン[3]
23/08 . . . 5個以上の $\equiv\text{CH}$ 基, 例. ポリカーボシアニン[3]
23/10 . . 偶数個の $\equiv\text{CH}$ 基を有するもの[3]
23/12 . ポリメチン鎖が分岐しているもの
23/14 . スチリル染料
100 . . スチルベン染料
200 . . . 複素環を有しないもの
250



を有するもの



260 を有するもの



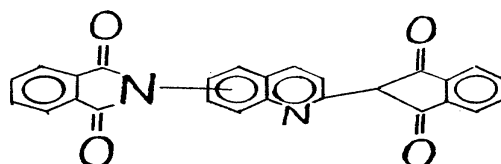
を有するもの

500 . . . 複素環を有するもの

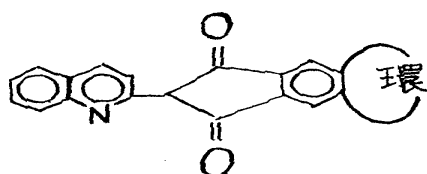
600 ビス (トリアジニルアミノ) スチルベン

- 23/16 . ポリメチン鎖がヘテロ原子を含むもの
25/00 キノフタロン

B



キノルジン核にフタル酸イミド基が結合したもの



D

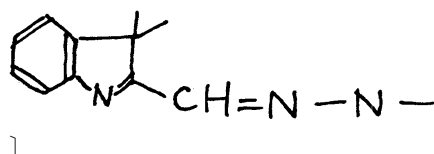
フタロイル基に環が縮合しているもの

Z

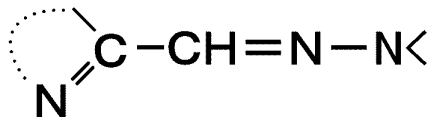
その他

26/00 ヒドラゾン染料; トリアゼン染料[3]

26/02 ・ヒドラゾン染料 (ヒドラゾン—アゾ染料 C09B56/18) [3]

A 環構造 [マゼンタ前駆体等]
[例]

]



B

造

構

Z

その他

26/04 ・カチオン性のもの[3]

26/06 ・トリアゼン染料 (トリアゼン—アゾ染料 C09B56/20) [3]

アゾ染料

注

グループ 27/00 から 46/00 においては, アゾ染料の種々の型の式における矢印はジアゾ化とカップリングによって製造されたアゾ染料のどの部分がジアゾ化合物から誘導されたのか, どの部分がカップリング化合物から誘導されたのかを示している。矢印はカップリング化合物から誘導された部分を示している。[4]

27/00 ジアゾ化およびカップリングによる以外の方法でアゾ基を形成するアゾ染料

27/06 ・タルトラジン[3]

29/00 ジアゾ化およびカップリングによるモノアゾ染料

29/01 ・ジアゾ成分によって特徴づけられたもの[3]

29/02 ・ジアゾ化された o—アミノ—ヒドロキシ化合物からのもの[3]

29/03 ・ジアゾ化された o—アミノ—カルボン酸または o—アミノスルホン酸からのもの[3]

29/033 ・・ジアゾ化された複素環を含むアミンからのもの[3]

29/036 ・・・異項原子として窒素原子のみを含む複素環式化合物[3]

29/039 ・・・異項原子として窒素原子と硫黄原子のみを含む複素環式化合物[3]

29/042 ・・・複素環がチアゾール環であるもの[3]

29/045 ・・・・ベンゾチアゾール[3]

29/048 ・・・複素環がチアジアゾール環であるもの[3]

29/06 ・唯一のダイレクティンググループとしてアミノ基を含むカップリング成分からのもの

29/08 ・アミノベンゼン

A N—置換基として脂肪族基を有するもの

B N—置換基として芳香族基を有するもの

C N—置換基として複素環基を有するもの

D N—置換基としてハロゲンを含むもの

E N—置換基として窒素を含むもの

F N—置換基として硫黄を含むもの

Z その他のもの

29/085 ・・・ジアゾ化されたアニリンにカップリングされるもの[3]

A N—置換基として脂肪族基を有するもの

B N—置換基として芳香族基を有するもの

C N—置換基として複素環基を有するもの

D N—置換基としてハロゲンを含むもの

E N—置換基として窒素を含むもの

F N—置換基として硫黄を含むもの

Z その他のもの

29/09 ・・・複素環を含むジアゾ化されたアミンにカップリングされるもの[3]

A 複素環が硫黄のみを有するもの

B 複素環が窒素のみを有するもの

C 複素環が硫黄と窒素を有するもの

Z その他のもの

29/095 ・・アミノナフタレン[3]

29/10 ・唯一のダイレクティンググループとしてヒドロキシ基を含むカップリング成分からのもの

29/12 ・・ベンゼン系

29/14 ・・・ヒドロキシカルボン酸

29/15 ・・ナフタレン系[3]

29/16 ・・・ナフトール—スルホン酸[3]

29/18 ・・オルト—ヒドロキシカルボン酸アミド

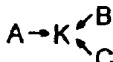
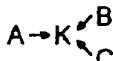
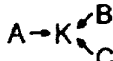
29/20 ・・・ナフタレン系

A ジアゾ成分が芳香族系であり, カップリング成分が芳香族系とアミド結合しているもの

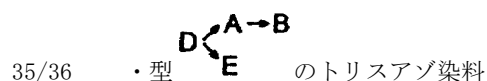
B ・ベンゼン系とアミド結合しているもの

C ジアゾ成分が芳香族系であり, カップリング成分が複素環系とアミド結合している

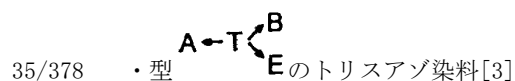
	もの	29/50	・ ・ ・ ・ 1, 2—ジアゾロン[3]
D	・硫黄のみを有する複素環系とアミド結合しているもの	29/52	・ ・ ・ ジアジン[3]
E	・窒素のみを有する複素環系とアミド結合しているもの	31/00	ジアゾ化およびカップリングによる, 型A→B→C, A→B→C→D または類似のもののジスアゾおよびポリアゾ染料
F	・硫黄と窒素を有する複素環系とアミド結合しているもの	31/02	・ジスアゾ染料
G	ジアゾ成分が複素環系であり, カップリング成分が芳香族系とアミド結合しているもの	31/04	・ ・ ダイレクティブアミノ基を含むカップリング成分 “C” からのもの
H	・ベンゼン系とアミド結合しているもの	31/043	・ ・ ・ アミノベンゼン[3]
J	ジアゾ成分が複素環系であり, カップリング成分が複素環系とアミド結合しているもの	31/047	・ ・ ・ 酸基, 例. COOH, SO ₃ H, PO ₃ H ₂ , OSO ₃ H, OPo ₂ H ₂ を含むもの; その塩[3]
K	・硫黄のみを有する複素環系とアミド結合しているもの	31/053	・ ・ ・ アミノナフタレン[3]
L	・窒素のみを有する複素環系とアミド結合しているもの	31/057	・ ・ ・ 酸基, 例. COOH, SO ₃ H, PO ₃ H ₂ , OSO ₃ H, OPo ₂ H ₂ を含むもの; その塩[3]
M	・硫黄と窒素を有する複素環系とアミド結合しているもの	31/06	・ ・ ダイレクティブヒドロキシ基を含むカップリング成分 “C” からのもの
Z	その他のもの	31/062	・ ・ ・ フェノール[3]
29/22	・ ・ ・ 複素環化合物	31/065	・ ・ ・ 酸基, 例. COOH, SO ₃ H, PO ₃ H ₂ , OSO ₃ H, OPo ₂ H ₂ を含むもの; その塩[3]
29/24	・ダイレクティンググループとしてヒドロキシ基およびアミノ基をともに含むカップリング成分からのもの	31/068	・ ・ ・ ナフトール[3]
29/26	・ ・ アミノフェノール	31/072	・ ・ ・ 酸基, 例. COOH, SO ₃ H, PO ₃ H ₂ , OSO ₃ H, OPo ₂ H ₂ を含むもの; その塩[3]
29/28	・ ・ アミノナフトール	31/075	・ ・ ・ 0—ヒドロキシカルボン酸アミド[3]
29/30	・ ・ ・ アミノナフトールスルホン酸	31/078	・ ・ ・ 酸基, 例. COOH, SO ₃ H, PO ₃ H ₂ , OSO ₃ H, OPo ₂ H ₂ を含むもの; その塩[3]
29/32	・反応性メチレン基を含むカップリング成分からのもの	31/08	・ ・ ダイレクティブヒドロキシ基およびアミノ基を含むカップリング成分 “C” からのもの
29/33	・ ・ アセト—またはベンゾイル—アセチルアリライド[3]	31/10	・ ・ 反応性メチレン基を含むカップリング成分 “C” からのもの
A	アセト—アリライド	31/11	・ ・ ・ アセト—またはベンゾイル—アセチルアリライド[3]
B	・複素環を有するもの	31/12	・ ・ 他のカップリング成分 “C” からのもの
C	ベンゾイル—アリライド	31/14	・ ・ ・ 複素環成分
Z	その他のもの	31/143	・ ・ ・ ・ 1, 2—ジアゾール[3]
29/34	・他のカップリング成分からのもの	31/147	・ ・ ・ ・ ・ ピラゾール[3]
29/36	・ ・ 複素環化合物からのもの	31/15	・ ・ ・ ・ インドール[3]
A	複素環が硫黄のみを有するもの	31/153	・ ・ ・ ・ 唯一の環構成異項原子として 1 個の窒素原子を含む 6 員環を含むもの[3]
B	複素環が硫黄と窒素を有するもの	31/157	・ ・ ・ ・ ・ キノリンまたは水素添加されたキノリン[3]
Z	その他のもの	31/16	・ トリスアゾ染料
29/40	・ ・ ・ 唯一の環構成異項原子として 1 個の窒素原子を有する 5 員環を含むもの[3]	31/18	・ ・ ダイレクティブアミノ基を含むカップリング成分 “D” からのもの
29/42	・ ・ ・ 唯一の環構成異項原子として 1 個の窒素原子を有する 6 員環を含むもの[3]	31/20	・ ・ ダイレクティブヒドロキシ基を含むカップリング成分 “D” からのもの
A	カップリング成分が水酸基を有するもの	31/22	・ ・ ダイレクティブヒドロキシ基およびアミノ基を含むカップリング成分 “D” からのもの
B	カップリング成分がアミノ基を有するもの	31/24	・ ・ 反応性メチレン基を含むカップリング成分 “D” からのもの
Z	その他のもの	31/26	・ ・ 他のカップリング成分 “D” からのもの
29/44	・ ・ ・ ・ キノリン又は水素添加されたキノリン[3]	31/28	・ ・ ・ 複素環化合物
29/46	・ ・ ・ 1, 2—ジアゾール又は水素添加された 1, 2—ジアゾール[3]		
29/48	・ ・ ・ ・ アミノ—1, 2—ジアゾール[3]		

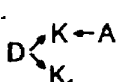
31/30	・他のポリアゾ染料		
33/00	ジアゾ化またはカップリングによる, 型 $A \rightarrow K \leftarrow B, A \rightarrow B \rightarrow K \leftarrow C$ または類似のもののジスアゾおよびポリアゾ染料	35/027	・・・・カップリング成分がヒドロキシアーミノ化合物であるもの[3]
33/02	・ジスアゾ染料	35/029	・・・・アミノナフトール[3]
33/04	・・・・カップリング成分がジヒドロキシまたはポリヒドロキシ化合物であるもの	35/03	・・・・カップリング成分が複素環化合物であるもの[3]
33/044	・・・・カップリング成分がビスフェノールであるもの[3]	35/031	・・・・唯一の環構成異項原子として 1 個の窒素原子を含む 6 員環を含むもの[3]
33/048	・・・・カップリング成分がビスナフトールであるもの[3]	35/033	・・・・カップリング成分が 0—ヒドロキシカルボン酸または β —ケト—カルボン酸のアリールアミドであるもの[3]
33/052	・・・・カップリング成分がビス—(ナフトール—アミン) であるもの[3]	35/035	・・・・カップリング成分が活性化されたメチレン基をもつもの[3]
33/056	・・・・カップリング成分がビス—(ナフトール—尿素) であるもの[3]	35/037	・異なる型の 2 つのカップリング成分によって特徴づけられるもの[3]
33/06	・・・・カップリング成分がジアミンまたはポリアミンであるもの	35/039	・テトラゾ成分によって特徴づけられるもの[3]
33/08	・・・・カップリング成分がヒドロキシアーミノ化合物であるもの	35/04	・・・・テトラゾ成分がベンゼン誘導体であるもの[3]
33/10	・・・・カップリング成分がアミノナフトールであるもの	35/06	・・・・テトラゾ成分がナフタレン誘導体であるもの[3]
33/12	・・・・カップリング成分が複素環化合物であるもの	35/08	・・・・テトラゾ成分がビフェニル誘導体であるもの[3]
33/13	・・・・カップリング成分がビス—ピラゾンであるもの[3]	35/10	・・・・同型の 2 つのカップリング成分からのもの[3]
33/147	・・・・カップリング成分がビス—(0—ヒドロキシ—カルボン酸アミド) であるもの[3]	35/12	・・・・アミンからのもの[3]
33/153	・・・・カップリング成分がビス—(アセトアセチルアミド) またはビス—(ベンゾイル—アセチルアミド) であるもの[3]	35/14	・・・・ヒドロキシ化合物からのもの[3]
33/16	・・・・他のカップリング成分からのもの	35/16	・・・・ヒドロキシアミンからのもの[3]
33/18	・トリスアゾまたはより高次のポリアゾ染料	35/18	・・・・複素環化合物からのもの[3]
33/22	・・・・型 $A \rightarrow B \rightarrow K \leftarrow C$ のトリスアゾ染料[3]	35/20	・・・・異なる型の 2 つのカップリング成分からのもの[3]
		35/205	・・・・テトラゾ成分がジアリールまたはトリアリールアルカンまたはアルケン誘導体であるもの[3]
33/24	・・・・型 $A \rightarrow K \leftarrow B, C$ のトリスアゾ染料[3]	35/21	・・・・ジアリールメタンまたはトリアリールメタンであるもの[3]
33/26	・・・・型 $A \rightarrow B \rightarrow C \rightarrow K \leftarrow D$ のテトラゾ染料[3]	35/215	・・・・ジアリールエタンまたはジアリールエテンであるもの[3]
33/28	・・・・型 $A \rightarrow B \rightarrow K \leftarrow C \leftarrow D$ のテトラゾ染料[3]	35/22	・・・・テトラゾ成分がジアリールエーテル誘導体であるもの[3]
		35/227	・・・・テトラゾ成分がジアリールスルフィドまたはジアリールポリスルフィド誘導体であるもの[3]
33/30	・・・・型 $A \rightarrow K \leftarrow B, C \rightarrow D$ のテトラゾ染料[3]	35/227	・・・・テトラゾ成分がジアリールスルフィドまたはジアリールポリスルフィド誘導体であるもの[3]
		35/233	・・・・テトラゾ成分がジアリールケトンまたはベンジル誘導体であるもの[3]
33/32	・・・・型 $A \rightarrow K \leftarrow B, C \rightarrow D$ のテトラゾ染料[3]	35/24	・・・・テトラゾ成分がジアリールアミン誘導体であるもの[3]
35/00	ジアゾ化またはカップリングによる, 型 $A \leftarrow D \rightarrow B$ のジスアゾおよびポリアゾ染料	35/26	・・・・テトラゾ成分がジアリール尿素誘導体であるもの[3]
35/02	・ジスアゾ染料	35/28	・・・・テトラゾ成分が—CON<, —SO ₂ N<, —SO ₂ —または—SO ₂ —O—基の少なくとも 1 つによって結合した 2 つのアリール核を含むもの[3]
35/021	・・・・同型の 2 つのカップリング成分によって特徴づけられたもの[3]		
35/023	・・・・カップリング成分がヒドロキシまたはポリヒドロキシ化合物であるもの[3]		
35/025	・・・・カップリング成分がアミンまたはポ		

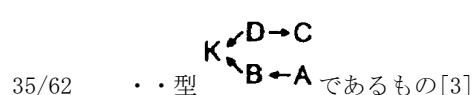
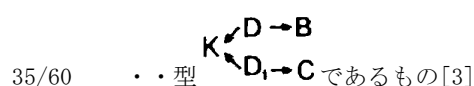
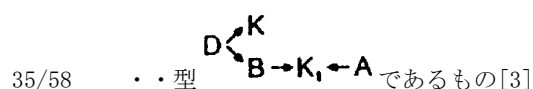
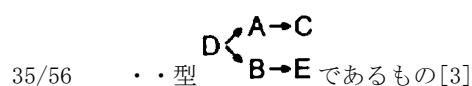
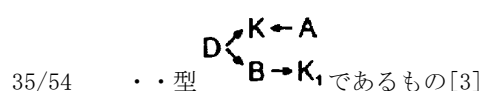
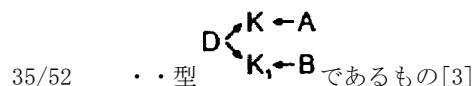
- 35/30 ・・・・同じ2つのカップリング成分からのもの[3]
- 35/32 ・・・・異なった2つのカップリング成分からのもの[3]
- 35/34 ・・・・テトラゾ成分が複素環化合物であるもの[3]
- 35/35 ・テトラゾ成分がジアミノアゾアリアル化合物であるトリスアゾ染料[3]



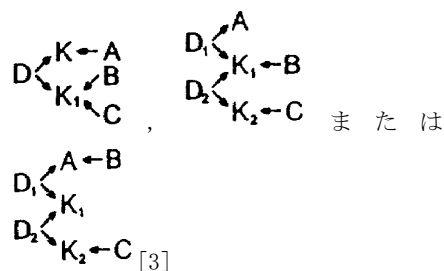
- 35/362 ・・・・Dがベンゼンであるもの[3]
- 35/364 ・・・・Dがナフタレンであるもの[3]
- 35/366 ・・・・Dがジフェニルであるもの[3]
- 35/368 ・・・・Dがジアリールエーテル, ジアリールスルフィドまたはジアリールポリスフィドであるもの[3]
- 35/37 ・・・・Dがジアリールアミンであるもの[3]
- 35/372 ・・・・Dがジアリール尿素であるもの[3]
- 35/374 ・・・・Dが—CON<, —SO₂N<, —SO₂—または—SO₂—O—基の少なくとも一つによって結合した2つのアリール核を含むもの[3]
- 35/376 ・・・・Dが複素環化合物であるもの[3]



- 35/38 ・型  のトリスアゾ染料
- 35/40 ・・・・成分Kがジヒドロキシまたはポリヒドロキシ化合物であるもの
- 35/42 ・・・・成分Kがジアミンまたはポリアミンであるもの
- 35/44 ・・・・成分Kがヒドロキシアミンであるもの
- 35/46 ・・・・成分Kがアミノナフトールであるもの
- 35/48 ・・・・成分Kが複素環化合物であるもの
- 35/50 ・テトラゾ染料



- 35/64 ・・・・より高次のポリアゾ染料, 例. 型



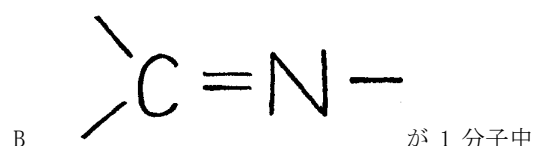
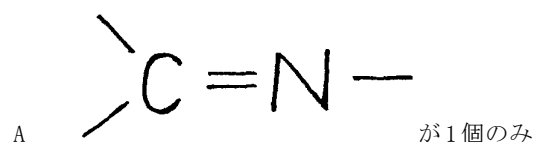
- 37/00 ジアゾ化されたアミンの自己のカップリングによるアゾ染料
- 39/00 ジアゾ化およびカップリングによる他のアゾ染料
- 41/00 カップリング反応を行なうための特殊方法
- A カップリング助剤を用いるもの
- B 特定の溶媒を用いるもの
- C ジアゾ成分又はカップリング成分が複数のもの
- D カップリング後の処理工程を有するもの
- Z その他のもの
- 43/00 他のアゾ化合物からのアゾ染料の製造
- 43/02 ・スルホン化によるもの
- 43/04 ・ニトロ化によるもの
- 43/06 ・酸化によるもの
- 43/08 ・還元によるもの (脱アミノ化 C09B43/04)
- 43/10 ・・・・新規なアゾまたはアゾキシ架橋を形成するもの
- 43/11 ・1級または2級アミノ基に炭化水素または置換された炭化水素を導入することによるもの (還元, 例. ニトロ基の還元, によるアミノ基の形成 C09B43/08) [3]
- 43/12 ・アミノ基のアシル化によるもの
- 43/124 ・・・・モノカルボン酸, カルバミン酸エステルまたはハロゲン化物, モノイソシアネートまたはハロギ酸のエステルによるもの [3]
- 43/128 ・・・・脂肪族, 環式脂肪族または芳香脂肪族の酸[3]
- 43/132 ・・・・芳香族炭素環に直接に結合したカルボン酸基をもつもの[3]
- 43/136 ・・・・多官能アシル化剤によるもの[3]
- 43/14 ・・・・ホスゲンまたはチオホスゲンによるもの[3]
- 43/145 ・・・・ポリカルボン酸によるもの[3]
- 43/15 ・・・・オルト—またはペリ—ジカルボン酸の環状イミドの形成によるもの[3]
- 43/155 ・・・・ジ—またはポリ—イソシアネートによるもの[3]
- 43/16 ・・・・アミノアゾ化合物を他のアミノ化合物とシアヌル酸またはシアヌル酸残基

	によって結合するもの[3]	44/18	・ 唯一の環構成異項原子として 3 個の窒素原子を持つもの[3]
43/18	・ ヒドロキシ基のアシル化によるもの	44/20	・ ・チアゾールまたは水素化されたチアゾール[3]
43/20	・ ・モノカルボン酸, カルバミン酸のエステルまたはハロゲン化物, モノイソシアネートまたはハロギ酸エステルによるもの[3]	45/00	アゾ染料の金属錯塩化合物
43/22	・ ・ ・芳香族炭素環に直接結合したカルボン酸基をもつもの[3]	45/01	・ 金属化の方法によって特徴づけられるもの[3]
43/24	・ ・ —O—SO ₂ —R または —O—SO ₃ H 基を形成するもの[3]	45/02	・ o—位にヒドロキシ基と o'—位にヒドロキシ, アルコキシ, カルボキシ, アミノまたはケト基を含む染料からの製造[2]
43/26	・ ・ 多官能アシル化剤によるもの[3]	45/04	・ ・ アゾ化合物一般
43/28	・ ヒドロキシ基のエーテル化によるもの[3]	45/06	・ ・ ・クロム化合物
43/30	・ —COOH または —SO ₃ H 基のエステル化によるもの[3]	45/08	・ ・ ・銅化合物
43/32	・ カルボン酸またはスルホン酸基, またはそれらの誘導体とアミンとの反応によるもの; ケト基とアミンとの反応によるもの[3]	45/10	・ ・ ・コバルト化合物
43/34	・ ・ オルト—またはペリージカルボン酸染料との反応によるもの[3]	45/12	・ ・ ・他の金属化合物
43/36	・ ・ アミノ—アントラセンまたはアミノ—アントラキノン染料によるもの[3]	45/14	・ ・ モノアゾ化合物
43/38	・ ・ 2 またはそれ以上のオルト—ヒドロキシナフトエ酸染料とポリアミンとの反応によるもの[3]	A	1 組のモノアゾ化合物のアゾ成分とカップリング成分が共に芳香族化合物の組み合わせであるもの
43/40	・ 他の異種原子を含む基によって異種原子を置換することによるもの[3]	B	1 組のモノアゾ化合物のアゾ成分とカップリング成分が共に複素環化合物の組み合わせであるもの
43/42	・ ・ —CN 基を異種原子を含む基によって置換することによるもの[3]	C	1 組のモノアゾ化合物のアゾ成分とカップリング成分が, 一方が共に芳香族化合物又は複素環化合物であり, 他方が芳香族化合物と複素環化合物の組み合わせであるもの
43/44	・ ヒドロキシ基をアミノ基で置換するまたはアミノ基をヒドロキシ基で置換することによるもの; アミノ—アシル基の脱アシル化; 脱アミン化[3]	D	1 組のモノアゾ化合物のアゾ成分とカップリング成分が, 両方とも芳香族化合物と複素環化合物の組み合わせであるもの
44/00	陽イオン基を含むアゾ染料[3]	Z	その他のもの
44/02	・ アゾ基に直接には結合していないアンモニウム基を含むもの[3]	45/16	・ ・ ・クロムを含むもの
44/04	・ ・ 唯一のダイレクティンググループとしてアミノ基を含むカップリング成分からのもの[3]	A	1 組のモノアゾ化合物のアゾ成分とカップリング成分が共に芳香族化合物の組み合わせであるもの
44/06	・ ・ 唯一のダイレクティンググループとしてヒドロキシ基を含むカップリング成分からのもの[3]	B	1 組のモノアゾ化合物のアゾ成分とカップリング成分が共に複素環化合物の組み合わせであるもの
44/08	・ ・ 複素環を含むカップリング成分からのもの[3]	C	1 組のモノアゾ化合物のアゾ成分とカップリング成分が, 一方が共に芳香族化合物又は複素環化合物であり, 他方が芳香族化合物と複素環化合物の組み合わせであるもの
44/10	・ その環を構成している炭素原子によってアゾ基に結合した環状のアンモニウム基を含むもの[3]	D	1 組のモノアゾ化合物のアゾ成分とカップリング成分が, 両方とも芳香族化合物と複素環化合物の組み合わせであるもの
44/12	・ ・ 唯一の環構成異項原子として 1 個の窒素原子を持つもの[3]	Z	その他のもの
44/14	・ ・ 1, 2—ジアゾールまたは水素化された 1, 2—ジアゾール[3]	45/18	・ ・ ・銅を含むもの
44/16	・ ・ 1, 3—ジアゾールまたは水素化された 1, 3—ジアゾール[3]	45/20	・ ・ ・コバルトを含むもの
		45/22	・ ・ ・その他の金属を含むもの
		45/24	・ ・ ジスアゾまたはポリアゾ化合物
		A	アゾ化合物が複素環化合物を有するもの
		B	アゾ化合物が複素環化合物を有しないもの


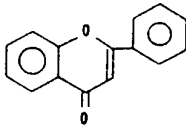
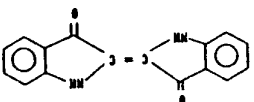
Z	その他のもの
45/26	・・・クロムを含むもの
45/28	・・・銅を含むもの
45/30	・・・コバルトを含むもの
45/32	・・・その他の金属を含むもの
45/34	・ o^1 —位に1個の原子またはヒドロキシ, アルコキシ, カルボキシ, アミノまたはケト基以外の官能基を有する o —モノヒドロキシアゾ化合物からの製造
45/36	・ o^1 位の水素の酸化によるもの
45/38	・同じ環内の隣位またはペリ位に OH および COOH をもつ化合物からの製造
45/40	・クロム化合物
45/42	・銅化合物
45/44	・コバルト化合物
45/46	・他の金属化合物
45/48	・アゾ染料の他の金属錯塩化合物からの製造
46/00	グループ C09B27/00-C09B45/00 に属さないアゾ染料[2]

47/00	ポルフィン;アザポルフィン
47/04	・フタロシアニン[3]
47/06	・カルボン酸またはその誘導体からの製造[3]
47/067	・フタロジニトリルからの製造[3]
47/073	・イソインドレニンからの製造[3]
47/08	・その他のフタロシアニン化合物からの製造[3]
47/10	・フタロシアニン核に直接結合したハロゲン原子を有する化合物の製造[3]
47/12	・フタロシアニン核に結合したアルキル基または炭素以外の原子で置換されたアルキル基を有する化合物の製造[3]
47/14	・ハロゲン原子で置換されたアルキル基を有するもの[3]
47/16	・窒素原子で置換されたアルキル基を有するもの[3]
47/18	・フタロシアニン核に直接結合した酸素原子を有する化合物[3]
47/20	・フタロシアニン核に直接結合した硫黄原子を有する化合物[3]
47/22	・フタロシアニン核に直接結合した窒素原子を有する化合物[3]
47/24	・フタロシアニン核に直接結合した—COOH 又は—SO ₃ H 基を有する化合物またはその誘導体[3]
47/26	・アミド基[3]
47/28	・—S—SO ₃ H 基を有するフタロシアニン染料[3]
47/30	・無金属フタロシアニン[3]

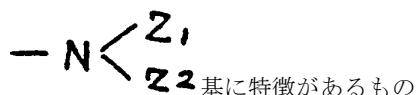
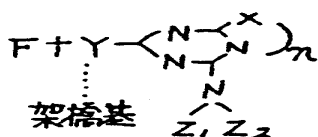
47/32	・塩基性フタロシアニン染料[3]
48/00	キナクリドン
A	構造に特徴
B	製法に特徴
Z	その他
49/00	硫化染料
49/02	・ベンゼン, ナフタレンまたはアントラセン系ニトロ化合物からのもの
49/04	・ベンゼン, ナフタレンまたはアントラセン系アミノ化合物からのもの
49/06	・アジン, オキサジン, チアジンまたはチアゾールからのもの
49/08	・尿素誘導体からのもの
49/10	・ジフェニルアミン, インダミンまたはインドフェノールからのもの
49/12	・他の化合物からのもの
50/00	ホルマザン染料;テトラゾリウム染料[3]
50/02	・テトラゾリウム染料[3]
50/04	・無金属ホルマザン染料[3]
50/06	・ビス—ホルマザン染料[3]
50/08	・メソーアシルホルマザン染料[3]
50/10	・塩基性ホルマザン染料[3]
51/00	ニトロまたはニトロソ染料
53/00	キノンイミド
A	写真用
Z	その他
53/02	・インダミン;インドフェノール
55/00	アゾメチン染料



C	金属錯体
D	金属錯塩モノアゾメチン染料
E	写真用 [26/02A, 53/00A に単独に分類されないもの]
Z	その他のもの
56/00	他の色原体を有するアゾ染料[3]
56/02	・アゾメチン—アゾ染料[3]
56/04	・スチルベン—アゾ染料[3]
56/06	・ビスまたはポリースチルベン—アゾ染料[3]
56/08	・スチリル—アゾ染料[3]
56/10	・ホルマザン—アゾ染料[3]
56/12	・アントラキノ—アゾ染料[3]
56/14	・フタロシアニン—アゾ染料[3]

56/16	・メチンまたはポリメチン—アゾ染料[3]				ル—イミダゾール[3]
56/18	・ヒドラゾン—アゾ染料[3]	57/14	・ベンゾキサンテン染料;ベンゾチオキサン テン染料[3]		
56/20	・トリアゼン—アゾ染料[3]	59/00	構造未知の人造染料		
57/00	構造既知のその他の合成染料	61/00	天然物からの採取による天然染料		
A	キノン染料 (アントラセン染料 C09B1/00-C09B6/00, C09B9/02; オキシケ トン染料 C09B13/00-C09B13/06)	A	カロチノイド系色素[カロチン, キサントフ イル, アスタキサンチン, カンタキサンチ ン, クロシン, クロセチンなど] [含有する もの: ニンジン, パプリカ, トマト, オキア ミ, クチナシ] [緑, 青の色素→Z]		
B	スピロピラン染料	B	ピロール系色素 [クロロフィル]  ピロ ール		
C	フタロン染料; フタリド染料	C	フラボン系色素 [アントシアニン, ベタシア ニン, ベタニン] [含有するもの: 赤キヤベ ツ, ムラサキトウモロコシ, ベリー類, ブ ドウ] 		
D	オキサゾール染料	D	インドール系色素 [アイ]		
E	・モノオキサゾール染料				
F	・ビスオキサゾール染料; ポリキサゾール染 料	E	モナスカス属紅麹菌色素		
G	チアジアゾール染料	F	紅花色素 [サフラワイエロー, カルコン, カ ルタミン]		
H	オキサジアゾール染料	Z	その他のもの [ウコン (クルクミン), スオ ウ, スピルリナ, タマリンド, ラツカイン 酸, シコニン]		
J	ピラゾリン染料	62/00	反応性染料, すなわち基体と共有結合を形 成するかまたは自己重合する染料[3]		
K	トリアゾール染料	62/002	・択一的に記載された反応性基の結合を有 するもの[3]		
L	・モノトリアゾール染料	A	特定の発色団 [アントラキノン, アゾ以外]		
M	・ビストリアゾール染料; ポリトリアゾール 染料	Z	その他		
N	チオフェン染料	62/004	・・アントラセン染料[3]		
P	フラン染料	62/006	・・アゾ染料[3]		
X	スクアリリウム染料	62/008	・・・モノアゾ染料[3]		
Y	蛍光増白剤であっ て, C09B57/00A-C09B57/00Xに分類されな いもの	A	反応基がジアゾ成分側に結合しているもの		
Z	その他のもの	B	反応基がカップリング成分側に結合してい るもの		
57/02	・クマリン染料[3]	C	・カップリング成分が芳香族化合物である もの		
A	クマリン核に直接複素環残基が結合してい ないもの	D	・カップリング成分が複素環化合物である もの		
B	・7位がトリアジニルアミノ基のもの	E	・カップリング成分が活性メチレン化合物 であるもの		
C	クマリン核に直接複素環残基が結合してい るもの	Z	その他		
D	・3位のみが複素環残基	62/01	・・・ジスアゾまたはポリアゾ染料[3]		
E	・7位のみが複素環残基	62/012	・・・金属錯塩アゾ染料[3]		
F	・・複素環がトリアゾリル基	62/014	・・ニトロ染料[3]		
G	・3位と7位に複素環残基				
H	クマリン核に複素環が縮合しているもの				
Z	その他のもの				
57/04	・イソインドリン染料[3]				
57/06	・ナフトラクタム染料[3]				
57/08	・ナフタル酸イミド染料; フタル酸イミド染 料[3]				
A	ナフタル酸イミド染料				
B	・ナフタルイミド核の2-7位のいずれかが 置換されているもの				
C	・置換基がアルコキシ基のみであるもの				
D	・N-アミノナフタルイミド染料				
E	フタル酸イミド染料				
Z	その他のもの				
57/10	・錯塩状態でない時には染料とはならない有 機化合物の錯塩[3]				
57/12	・ペリノン, すなわちナフトイレン—アリー				

- 62/016 ・ ・ ポルフィン;アザポルフィン[3]
 62/018 ・ ・ ホルマザン染料[3]
 62/02 ・ 複素環に直接結合した反応性基をもつもの
 62/022 ・ ・ 択一的に記載された複素環[3]
 A 特定の発色団
 Z その他
 62/024 ・ ・ ・ アントラセン染料[3]
 62/026 ・ ・ ・ アゾ染料[3]
 62/028 ・ ・ ・ ・ モノアゾ染料[3]
 A 反応基がジアゾ成分側に結合しているもの
 B 反応基がカツプリング成分側に結合しているもの
 C ・ カツプリング成分が芳香族化合物であるもの
 D ・ カツプリング成分が複素環化合物であるもの
 E ・ カツプリング成分が活性メチン化合物であるもの
 Z その他
 62/03 ・ ・ ・ ・ ジスアゾまたはポリアゾ染料[3]
 62/032 ・ ・ ・ ・ 金属錯塩アゾ染料[3]
 62/034 ・ ・ ・ ニトロ染料[3]
 62/036 ・ ・ ・ ポルフィン;アザポルフィン[3]
 62/038 ・ ・ ・ ホルマザン染料[3]
 62/04 ・ ・ トリアジン環に直接結合したもの
 A 特定の発色団



- 基に特徴があるもの
 Z その他
 62/06 ・ ・ ・ アントラセン染料
 62/08 ・ ・ ・ アゾ染料
 62/085 ・ ・ ・ ・ モノアゾ染料[3]
 A 反応基がジアゾ成分側に結合しているもの
 B 反応基がカツプリング成分側に結合しているもの
 C ・ カツプリング成分が芳香族化合物であるもの
 D ・ カツプリング成分が複素環化合物であるもの
 E ・ カツプリング成分が活性メチレン化合物であるもの
 Z その他
 62/09 ・ ・ ・ ・ ジスアゾまたはポリアゾ染料[3]
 A 一個のトリアジン環をもつもの
 B 二個のトリアジン環をもつもの
 C 三個以上のトリアジン環をもつもの
 Z その他

- 62/095 ・ ・ ・ ・ 金属錯塩アゾ染料[3]
 62/10 ・ ・ ・ ポルフィン;アザポルフィン
 62/12 ・ ・ ピリダジン環に直接結合したもの
 62/14 ・ ・ ・ アントラセン染料
 62/16 ・ ・ ・ アゾ染料
 62/165 ・ ・ ・ ・ モノアゾ染料[3]
 62/17 ・ ・ ・ ・ ジスアゾまたはポリアゾ染料[3]
 62/175 ・ ・ ・ ・ 金属錯塩アゾ染料[3]
 62/18 ・ ・ ・ ポルフィン;アザポルフィン
 62/20 ・ ・ ピリミジン環に直接結合したもの
 62/22 ・ ・ ・ アントラセン染料
 62/24 ・ ・ ・ アゾ染料
 62/245 ・ ・ ・ ・ モノアゾ染料[3]
 62/25 ・ ・ ・ ・ ジスまたはポリアゾ染料[3]
 62/255 ・ ・ ・ ・ 金属錯塩アゾ染料[3]
 62/26 ・ ・ ・ ポルフィン;アザポルフィン
 62/28 ・ ・ ピラジン環に直接結合したもの
 62/30 ・ ・ ・ アントラセン染料
 62/32 ・ ・ ・ アゾ染料
 62/325 ・ ・ ・ ・ モノアゾ染料[3]
 62/33 ・ ・ ・ ・ ジスアゾまたはポリアゾ染料[3]
 62/335 ・ ・ ・ ・ 金属錯塩アゾ染料[3]
 62/34 ・ ・ ・ ポルフィン;アザポルフィン
 62/343 ・ ・ 5員環に結合したもの[3]
 62/345 ・ ・ ・ アントラセン染料[3]
 62/347 ・ ・ ・ アゾ染料[3]
 62/35 ・ ・ ・ ・ モノアゾ染料[3]
 62/353 ・ ・ ・ ・ ジスアゾまたはポリアゾ染料[3]
 62/355 ・ ・ ・ ・ 金属錯塩アゾ染料[3]
 62/357 ・ ・ ・ ポルフィン;アザポルフィン[3]
 62/36 ・ ・ その他の複素環に直接結合したもの
 62/38 ・ ・ ・ アントラセン染料
 62/40 ・ ・ ・ アゾ染料
 62/405 ・ ・ ・ ・ モノアゾ染料[3]
 62/41 ・ ・ ・ ・ ジスアゾまたはポリアゾ染料[3]
 62/415 ・ ・ ・ ・ 金属錯塩アゾ染料[3]
 62/42 ・ ・ ・ ポルフィン;アザポルフィン
 62/44 ・ 複素環に直接には結合していない反応性基をもつもの
 ・ 択一的に記載された反応性基[3]
 ・ ・ ・ アントラセン染料[3]
 ・ ・ ・ アゾ染料[3]
 ・ ・ ・ ・ モノアゾ染料[3]
 ・ ・ ・ ・ ジスアゾまたはポリアゾ染料[3]
 ・ ・ ・ ・ 金属錯塩アゾ染料[3]
 ・ ・ ・ ポルフィン;アザポルフィン[3]
 ・ ・ ・ ホルマザン染料[3]
 ・ ・ アクリロイル基, 4 級化されたまたは 4 級化されないアミノアルキルカルボニル基または(>N)n—CO—A—O—Xまたは(>N)n—CO—A—Hal 基からなる反応性基 (A はアルキレンまたはアルキリデン基, X は水素または有機酸あるいは無機酸のアシル

	基, Hal はハロゲン原子そして n は 0 または 1) [3]		スルホニル基またはビニルスルホニルアミドまたは置換されたビニルスルホニルアミド基からなる反応性基[3]
62/467	・ ・ ・ アントラセン染料[3]	62/525	・ ・ ・ アントラセン染料[3]
62/47	・ ・ ・ アゾ染料[3]	62/527	・ ・ ・ アゾ染料[3]
62/473	・ ・ ・ ・ モノアゾ染料[3]	62/53	・ ・ ・ ・ モノアゾ染料[3]
62/475	・ ・ ・ ・ ジスアゾまたはポリアゾ染料[3]	62/533	・ ・ ・ ・ ジスまたはポリアゾ染料[3]
62/477	・ ・ ・ ・ 金属錯塩アゾ染料[3]	62/535	・ ・ ・ ・ 金属錯塩アゾ染料[3]
62/483	・ ・ ・ ポルフィン;アザポルフィン[3]	62/537	・ ・ ・ ポルフィン;アザポルフィン[3]
62/485	・ ・ ハローシクロブチル—カルボニル, ハローシクロブチル—ビニル—カルボニル, またはハローシクロブチニル—カルボニル基からなる反応性基[3]	62/54	・ ・ エポキシまたはハロヒドリン基からなる反応性基[3]
62/487	・ ・ ・ アントラセン染料[3]	62/56	・ ・ ・ アントラセン染料
62/489	・ ・ ・ アゾ染料[3]	62/58	・ ・ ・ アゾ染料
62/491	・ ・ ・ ・ モノアゾ染料[3]	62/585	・ ・ ・ ・ モノアゾ染料[3]
62/493	・ ・ ・ ・ ジスアゾまたはポリアゾ染料[3]	62/59	・ ・ ・ ・ ジスアゾまたはポリアゾ染料[3]
62/495	・ ・ ・ ・ 金属錯塩アゾ染料[3]	62/595	・ ・ ・ ・ 金属錯塩アゾ染料[3]
62/497	・ ・ ・ ポルフィン;アザポルフィン[3]	62/60	・ ・ ・ ポルフィン;アザポルフィン
62/503	・ ・ エステル化されたまたはエステル化されないヒドロキシアシルスルホニルまたはメルカプトアルキルスルホニル基, 4 級化されたまたは 4 級化されないアミノアルキルスルホニル基, ヘテリルメルカプトアルキルスルホニル基, ビニルスルホニルまたは置換ビニルスルホニル基, またはチオフェン—ジオキサイド基からなる反応性基[3]	62/62	・ ・ エチレンイミノあるいは N—アシル化エチレンイミノ基または—CO—NH—CH ₂ —CH ₂ —X 基または β—置換エチルアミノ基からなる反応性基 (X はハロゲン原子, 第 4 アンモニウム基または O—アシル基, そしてアシル基は有機酸または無機酸から誘導されたものである)
A	特定の発色団	62/64	・ ・ ・ アントラセン染料
Z	その他	62/66	・ ・ ・ アゾ染料
62/505	・ ・ ・ アントラセン染料[3]	62/665	・ ・ ・ ・ モノアゾ染料[3]
62/507	・ ・ ・ アゾ染料[3]	62/67	・ ・ ・ ・ ジスアゾまたはポリアゾ染料[3]
62/51	・ ・ ・ ・ モノアゾ染料[3]	62/675	・ ・ ・ ・ 金属錯塩アゾ染料[3]
A	反応基がジアゾ成分側に結合しているもの	62/68	・ ・ ・ ポルフィン;アザポルフィン
B	反応基がカップリング成分側に結合しているもの	62/763	・ ・ N—メチロール基またはその O—誘導体からなる反応性基[3]
C	・ カップリング成分が芳香族化合物であるもの	62/765	・ ・ ・ アントラセン染料[3]
D	・ カップリング成分が複素環化合物であるもの	62/767	・ ・ ・ アゾ染料[3]
E	・ カップリング成分が活性メチレン化合物であるもの	62/77	・ ・ ・ ・ モノアゾ染料[3]
Z	その他	62/773	・ ・ ・ ・ ジスアゾまたはポリアゾ染料[3]
62/513	・ ・ ・ ・ ジスアゾまたはポリアゾ染料[3]	62/775	・ ・ ・ ・ 金属錯塩アゾ染料[3]
62/515	・ ・ ・ ・ 金属錯塩アゾ染料[3]	62/777	・ ・ ・ ポルフィン;アザポルフィン[3]
62/517	・ ・ ・ ポルフィン;アザポルフィン[3]	62/78	・ ・ 他の反応性基をもつもの
62/523	・ ・ エステル化されたまたはエステル化されないヒドロキシアシルスルホニルアミドまたはヒドロキシアシルアミノスルホニル基, 4 級化されたまたは 4 級化されないアミノアルキルスルホニルアミド基, または置換アルキルアミノスルホニル基, またはハロゲンアルキルスルホニルアミドまたはハロゲンアルキルアミノ	62/80	・ ・ ・ アントラセン染料
		62/82	・ ・ ・ アゾ染料
		62/825	・ ・ ・ ・ モノアゾ染料[3]
		62/83	・ ・ ・ ・ ジスアゾまたはポリアゾ染料[3]
		62/835	・ ・ ・ ・ 金属錯塩アゾ染料[3]
		62/84	・ ・ ・ ポルフィン;アザポルフィン

レーキ;媒染剤;染料の製造

63/00	レーキ
65/00	媒染剤を含む組成物
67/00	化学反応によらない, 例えば, 溶剤による処理などによって染料の染色性や捺染性な

	どの物性に影響を及ぼすもの;染料製造における工程の特徴;特別の物理的性状, 例えば,錠剤状,フィルム状を有する染料の製造	D	アントラキノン系を含むもの
		E	蛍光増白剤を含むもの
		F	アゾ系, アントラキノン系, 蛍光増白剤以外のもの
L	変褪色の防止処理	Z	その他のもの
Z	その他のもの	67/24	・酸性染料または反応性染料の製造[3]
67/02	・特別の物理的性状, 例. 錠剤, フィルム, に特徴のある染料の製造[3]	A	酸性染料の製造
A	担体に顔料または染料が保持されたもの	B	反応性染料の製造
B	粒状化助剤を用いて製造するもの	Z	その他のもの
C	非発塵性を有するもの	67/26	・液体状のもの[3]
D	顔料または染料が特定のもの	A	染料が酸性染料のもの
Z	その他のもの	B	染料が反応性染料のもの
67/04	・粉碎 (C09B67/14 優先) [3]	Z	その他のもの
67/06	・乾燥[3]	67/28	・建染または硫化染料の製造[3]
67/08	・被覆粒状顔料または染料[3]	67/30	・液体状のもの[3]
A	マイクロカプセル化法によるもの	67/32	・カチオンまたは塩基性染料の製造[3]
B	顔料または染料が特定のもの	A	カチオン染料
C	被覆剤が特定のもの	B	塩基性染料
Z	その他のもの	Z	その他のもの
67/10	・液体, 例. 溶媒, による処理で物性に影響を及ぼすもの (C09B67/14, C09B67/18, C09B67/20 が優先) [3]	67/34	・液体状のもの[3]
67/12	・フタロシアニンの[3]	A	カチオン染料
67/14	・酸による処理で物性に影響を及ぼすもの[3]	B	塩基性染料
67/16	・フタロシアニンの[3]	Z	その他のもの
67/18	・アミンによる処理で物性に影響を及ぼすもの[3]	67/36	・アゾイック染料の製造[3]
A	キナクリドン	67/38	・分散染料の製造[3]
B	フタロシアニン	67/40	・液体状のもの[3]
Z	その他のもの	67/42	・C09B67/24-C09B67/40 の単一のグループに入らない染料の製造方法[3]
67/20	・有機顔料の製造[3]	A	染料の化学構造が定まっているもの
A	顔料の製法	B	染料が不特定のもの
B	・フタロシアニン顔料の製法	C	蛍光増白剤
C	・キナクリドン顔料の製法	Z	その他のもの
D	・イソインドリン顔料の製法	67/44	・溶液[3]
E	・アゾ顔料の製法	A	染料の化学構造が定まっているもの
F	顔料組成物	C	染料が不特定のもの
G	・フタロシアニン顔料組成物	D	蛍光増白剤
H	・キナクリドン顔料組成物	Z	その他のもの
J	・イソインドリン顔料組成物	67/46	・分散体[3]
K	・アゾ顔料組成物	A	染料の化学構造が定まっているもの
L	顔料分散剤	B	染料が不特定のもの
Z	その他のもの	C	蛍光増白剤
67/22	・異なる顔料または染料の混合物または顔料または染料の固溶体[3]	Z	その他のもの
A	複素環化合物を有するアゾ系を含むもの	67/48	・顔料または染料の結晶の改良 (C09B67/24 が優先) [3]
B	複素環化合物を有しないモノアゾ系を含むもの	A	複素環を有するアゾ染料
C	複素環化合物を有しないポリアゾ系を含むもの	B	複素環を有しないモノアゾ染料
		C	複素環を有しないポリアゾ染料
		Z	その他のもの
		67/50	・フタロシアニン[3]
		A	α 型フタロシアニン
		B	β 型フタロシアニン
		C	γ 型フタロシアニン
		Z	その他のもの

- 67/52 ・ ・ キナクリドン[3]
 A α 型キナクリドン
 B β 型キナクリドン
 C γ 型キナクリドン
 Z その他のもの
- 67/54 ・ 分離; 精製 (C09B67/06, C09B67/10 が優先)
 [3]
 A 分離膜を用いるもの
 B イオン交換物質を用いるもの
 C 電気透析法を用いるもの
 Z その他のもの
-

- 69/00 このサブクラスの単一のグループに属さない染料[2]
 A 置換基に特徴を有するアニオン染料
 B 置換基に特徴を有するカチオン染料
 Z その他のもの
- 69/02 ・ 染料塩, 例えば酸性染料と塩基性染料との塩 (染料の Na, K, あるいは NH_4^+ 塩または塩化物, 硫酸塩, 塩化亜鉛酸塩については関係する染料のグループを参照) [3]
- 69/04 ・ ・ アニオン染料と窒素含有化合物との塩
 [3]
- 69/06 ・ ・ カチオン染料と有機酸との塩[3]
- 69/08 ・ 分裂し得る水溶性基を有する染料[3]
- 69/10 ・ 高分子染料; 染料と単量体または高分子化合物との反応生成物[3]
 A 染料がアゾ基を有するもの
 B 染料がアゾ基を有しないもの
 Z その他のもの